

私流の Vector Works 小野 稔



I) 部分的なシュミレーション
部分的にここはどうしようと思ったことはありませんか？ そうしたとき、違うデザインしたものを、または色の違ったものを、違うテクスチャのものを衣服を着替えるように現場写真にはめ込むというのはいかがでしょうか。

ベクターワークスには、背景写真を取り込むといった機能がありますが、それを使っているようなシュミレーションをしてみようと思います。まずシュミレーションしたい部分を含む写真を背景写真として取り込みます。リソースパレットにて新規：・・・・.mcd

を選択してから背景テクスチャを再度洗濯します。指示に従ってイメージがあるフォルダを選択します。

選択方法・・・・・・・・・・※2

取り込んだ状態・・・・・・・・・・※1

※1の状態ではビューメニューの3Dをみるで前を選択します。この状態は3Dを前よりの視点からみることを意味します。こうしないとテクスチャの貼り付けができません。・・・・・・・・・・※3

次に※4のように多角形ツールで平面的な矩形を描きます。別に正面からの視点でなくてもかまいません。(長方形でなくてもかまいません)次にこの多角形に奥行きを与えて柱状体にします。厚みはバランス感覚でいいと思いますが、この場合30か36mmくらいでいいと思います。

この例の場合、木製建具の中にスリットを入れたかったので矩形を2つ描いて、2つの柱状体を作りました。

この矩形のひとつを選択した状態でリソースパレットよりテクスチャを選択して矩形に貼り付けます。

長方形ではないので矩形に木目が平行に合うとは限りません。※5のようにパレットで角度や縮率を調整します。縮率というのは、テクスチャの拡大縮小です。シュミレートするので、どの段階かでコピーを何種類かしておくといいと思います。それにテクスチャを貼ります。

それぞれの違うテクスチャーを貼った画像を背景画像と着せ替え人形のように着せ替えます。それぞれの組み合わせたものをプレゼンボードにて提案します。

そのプレゼンボードを **Primo Pdf(※7)** でpdf書類にしてメールでお客様とやり取りして決まったのが※6の写真です。

この種の応用例は、増築・改築などの際、内部写真を背景画像として床だけを多角形でなぞり、床だけを

いろいろな色とかテクスチャーに変えてみるとかできます。壁も然りです。また家の外観を背景として外壁だけをいろいろと変えてみることもできると思います。

このような使い方は分厚いテキストのどこにも書いてありませんでしたが、またきわめて単純作業ですが、本当はこういうことが一番役立つのかもしれない。

※7 Primo

pdf 印刷できるものは何でもPdf書類にしてくれるフリーソフト、しかもデータとして、とても軽い。

